

# 尚志が強豪・広島皆実下し初戦突破 全国高校サッカー

第93回全国高校サッカー選手権(日本サッカー協会、全国高体連、日本テレビ、福島中央テレビなど民間放送43社主催)第2日は31日、千葉県柏市の柏の葉公園総合競技場などで1回戦15試合を行い、本県代表で3年ぶり6度目出場の尚志は、2年連続11度目出場の強豪、広島皆実(みなみ)を2-0で下し、2回戦進出を決めた。尚志は2日に同競技場で行われる2回戦第1試合(午後0時5分開始予定)で聖和学園(宮城)との”東北勢対決”に臨む。このほか流通経大柏(千葉)などが2回戦に進んだ。

0-0の均衡が破れた後半29分、8000人の大観衆が固唾(かたず)をのんで見守るスタジアムが一瞬の静寂の後、歓喜と悲鳴に包まれた。「絶対に決めてやろうと思っていた」。尚志の勝利の立役者となったのは、ゴールを決める直前に交代出場でピッチに立ったFW佐藤誉晃(たかあき)(3年)だった。

先制の場面。DF慶野雄大(3年)が左サイドから投じたロングスローのボールにDF山城廉(3年)が右足で反応、コースを変えた。その後方にいた佐藤は「何とかゴールの方にボールを落としたい」とゴールに背を向けた体勢で相手DF2人に囲まれながら、後頭部でヘディングシュートを放ち、ゴールに押し込んだ。

後半37分には、必死に相手に食らい付き、勝利を大きく引き寄せるオウンゴールを誘った。「最後まで諦めずに相手を追えたのが良かった」と振り返った。

佐藤の本職はDFだが、仲村浩二監督から183センチの長身を買われ、FWとして出場。息詰まる攻防が続いた終盤、その期待に応えてみせた。仲村監督は試合後、「今年のチームは選手層が厚い。誰を使うか悩む」とうれい悩みを明かした。

次戦の相手は高円宮杯U-18(18歳以下)プリンスリーグ東北で1勝1敗だった聖和学園(宮城)。「背番号20」の佐藤は「次も好機があれば、絶対に決めたい」と力強く宣言した。(2015年1月1日 福島民友スポーツ)



【尚志—広島皆実】後半29分、尚志FW佐藤誉晃(20)(中央)が相手DF2人と競り合いながら、ゴールを背にヘディングシュートを決め、先制=千葉県柏市・柏の葉公園総合競技場